

5年生のみなさんへ 12

8月23日は二十四節氣の一つ「処暑」。^{にじゅうしせつき}「処暑」とは、厳しい暑さの^{とうげ}峠をこしたころです。朝夕にはすずしい風がふき、心地よい虫の声が聞こえます。暑さがやわらぎ、穀物^{こくもつ}が実り始めますが、同時に台風の季節^{とうらい}の到来でもあります。大風も大雨も来ませんように。

ウサギ小屋の前のコンテナの稻は、花をさかせて実り始めています。どの「もみ」もうまく受粉して、実ってくれるといいですね。一つぶのもみが何つぶになるのか、数えてみたいものです。



アサガオはうまく受粉したようで、たくさん実をつけています。これも一つぶの種から育てたもの。いったい何つぶの種ができるでしょうか。



一年生教室の道路側のフェンスには、アサガオや西洋アサガオ、夕顔がさいています。まだ実にはなっていませんが、きっと受粉することでしょう。



ツルレイシとヒマワリも種をいっぱいつけています。ツルレイシは真っ赤な種。赤い部分は種のまわりでゼリーのようになっています。鳥が好んで食べるようで、とてもあまかったです。ただ、ツルレイシが体質に合わない人はおなかが痛くなることもあるそうです。気を付けてね。



また算数の動画をのせておきました。「小数のわり算・夏休み用3」です。小数の割合のところです。よゆうのある人は予習しておくといいでしょう。

2学期には、いくつか行事などもありますので、みなさん之力を合わせて楽しめましょう。24日にみんなの元気な顔に会えることを楽しみにしています。